

The Magic of ROTARY ロータリーのマジック

2024～25 年度年度
国際ローター会長 Steohanie Urchick



東京麹町ロータリークラブ

本日の例会プログラム

第 30 回例会 2025.5.19 (#2445) 舞の間
例会ホスト・紹介係 吉田会員
受付係 藤田会員 荘村会員
司会者 山田会員 ソングリーダー 杉山会員

卓話「ROTEX から見た青少年交換プログラム」

Rotex 委員長 寺嶋 千陽さん
副委員長 鈴木結未歩さん
紹介者 加賀会員

前回の報告

第 29 回例会 2025.5.12 (#2444) 舞の間
例会ホスト・紹介係 乳井会員
受付係 植芝(充)会員 加賀会員
司会者 山田会員 ソングリーダー 高瀬 YE

卓話「漆～伝統継承の取り組み～」

目白漆芸文化財研究所 代表取締役 室瀬 智弥氏
紹介者 若林会員

今期のモットー：「親睦を通じて奉仕を実践する」

会長報告

- 1) 本日は、漆という伝統工芸にたずさわっていらっしゃる室瀬様にお話をいただきます。後程宜しくお願い致します。
- 2) 4月24日の地区大会にはご参加ありがとうございました。また、26日の競馬観戦親睦会にもご参加いただき楽しい時間をすごしました。
- 3) 4月より、新しい米山奨学生を担当致します。中国のチン ユさんです。 青少年交換学生の高瀬さんも出席です。(高瀬さんには、ソングリーダーと四つのテストのリーダーをお願いしました)
- 4) 5月6日の住吉会員のブルーオーシャンに、チャリティーコンサートに出演して下さったフレスコヴィッセルのメンバーが出演しました。これもロータリーの縁でのお話でしたが、ステキなひとときだったと思います。(前日のお知らせで申し訳ございません)

幹事報告

- 1) 地区大会にはご参加ありがとうございました
- 2) 例会終了後に定例理事会がございます。5月6日は、時年度の理事のかたもご出席下さい。
- 3) 来週は、各委員長のクラブ協議会がございます。引継ぎの意味も含まれますので、次年度の各委員長もご出席下さい。出欠を本日中にご回答下さい。

例会記録

会員総数 60名 出席会員数 25名
ゲスト 1名 ビジター 0名
その他 3名 海外ビジター 0名
事務局 2名

ニコニコボックス

若林会員：室瀬さん卓話を宜しくお願いします。
荒川会員：皆様ありがとうございます。
あと一ヶ月半です、宜しく
吉沢会員：4 月から米山奨学生の陳さんがお仲間になります。宜しく
時園会員：結婚 49 年、長く続く理由は海よりも深い忍耐です
細谷会員：85 歳になりました
パートナー誕生日：保科会員(1 日)垣見会員(15 日)
結婚記念日：山田会員(11 日)園田会員(27 日)

次回予告

第31回例会 2025、5、26 (#2446)
会場：舞の間
例会ホスト・紹介係 植芝(充)会員
受付係 浅野会員 須藤会員
司会者 山田会員
ソングリーダー 杉山会員

卓話「ファンドとコーポレートの違い」

(株)丸の内キャピタル 代表取締役社長
藤田 正敦氏
紹介者 荒川会員



時代の転換点におけるサステナビリティー

Think Coffee Japan CEO 代表取締役社長 田瀬 和夫氏 (4/14 卓話 荒川会員紹介)

2015 年に SDGs(持続可能な開発目標)が国連で採択され、早 10 年がたとうとしています。この 10 年で政府と NGO、ビジネス、金融機関が ESG 投資を軸にして一緒に意思決定をするようになり、企業には儲けることと社会や環境に良いことを両立(ダブルマテリアリティ)させて「正しく儲ける」ことが求められるようになりました。

利益と社会的善をサプライチェーンまで含めて両立させるのは本当に難しく、それをやるためには良くて強い事業が必要です。社会環境に良いだけではなく強くないと続きませんし、良くて強い事業をぐるぐる回していこうと思うと、良くて強い組織やサプライチェーンが必要になるというカラクリになっていて、全部一度に実現しなければいけないというのが、統合思考といわれているものです。

このときに有効なのが逆算(バックキャスト)と積み上げの両方を組み合わせていく手法で、これを数学的には帰納と演繹と言いますが、この両方をやるのが「SDGs サンドイッチ」です。直近の課題解決と将来の理想の社会像を見据えた長期的な取り組みを合わせて考えて、今も稼ぐし将来も稼ぐ、今も良いことをするし将来も良いことをすることができないか。ただ単に脱炭素をやりましょう、人権を守りましょうということではなくて、今もしっかりやるけれども、30 年後に全く違う世界が来たときにもちゃんと役割を違う方向で果たしている会社になれるかどうかということです。

EV を例に言うと、今年、ペロブスカイト太陽電池が実装化され、大量生産に入ります。原料はヨウ素で、塗布でき、曲げられて、今の太陽光パネル以上の発電効率を有しています。さらに全固体電池になると、10 分の充電で東京から福岡まで走れるようになります。それも最初はリチウムですがナトリウムのものが出てくるでしょう。そしてこれらは材料を含めて全部日本で作れますし、両方とも日本のイノベーションだといわれています。最終的に車にペロブスカイト太陽電池を貼り付けて全固体電池で走らせれば、究極、燃料も充電も全く必要とせず、二酸化炭素も出さずにずっと走り続ける、夢のムーンショット的な車が出現するでしょう。さらにそれに AI が加われば、人間が運転するよりも安全に走るようになると思います。

スマホが出てきたのは 2006 年のことで、それから 20 年でこれだけ社会が変わっていることを考えると、こうしたイノベーションの実装に照らせば、恐らく 2045 年とか 2050 年にはほとんど化石燃料を使わない社会が到来します。それを見据え、目の前でちゃんと稼いでいくのと同時に、どんな世界が来るか、あるいは来るべきかを予測あるいは洞察して目標にし、そこに向かっていかなければいけない。この「SDGs サンドイッチ」が、企業が SDGs から得られる最も重要な資産なのではないかと思っています。

さらに、企業は自社だけでなくサプライチェーン全体で生物多様性や脱炭素、人権、多様性を含む人的資本などの課題に立ち向かっていかなければなりません。特に生物多様性はこれから確実に重要になってきます。その中で、事業活動を通じて自然を増やす「ネイチャーポジティブ」な取り組みが求められており、世界中で再生農業などが積極的に推進されています。

ところが今、それに大逆風が吹いています。戦争は止まらないし、そこにトランプ大統領が出てきて関税の話で大騒ぎです。このようなときに大事なものは、各自がちゃんと情報収集をして考えることです。そうすることで、日本のポジションは変わってくると思います。今、SDGs の次に出てきているのがウェルビーイングと豊かさという言葉ですが、豊かさの概念は世代により変化してきています。SDGs やサステナビリティを進める上でも人の心をよく考えないと、次の時代は読めないし、実現できません。

何を実現するかということ、経営者としてしっかり持っていないといけな時代に来たのだと思います。私は、今の子どもたちが大人になったときにどんな社会を引き継いであげられるかが、われわれ現役世代の SDGs に課せられた大きな宿題だと思っています。

クラブだより No.30

『多数ご参加下さい』

最終例会(会長・幹事の慰労会も兼ねます)

6 月 23 日(月) 17:15 受付開始

17:45 例会スタート

会場:ホテルマンダリンオリエンタル 38F

イタリアンダイニング「ケシキ」

6 月 30 日は定款により休会です。

7 月 7 日は第 58 期 細谷年度のスタートです。

東京麹町ロータリークラブ

設立	1968 年 6 月 17 日	〒102-0093
例会日	月曜日 12:30	千代田区平河町 1-3-8
例会場	ホテル・ニューオータニ	平河町プラザ 204 号
		TEL:03-3263-9220
会長	荒川 和幸	FAX:03-3263-9122
幹事	守屋 幸作	e-mail office@koujimachi-rc.jp
公共イメージ 向上委員長	保科 充弘	URL:www.koujimachi-rc.jp